教科書Unit.15- 1　3年　わり算の基本
九九とわり算

例題と解説

例題１

リンゴが12個あります。このリンゴを4人で分けると1人何個のリンゴをもらえますか。

答え 3個

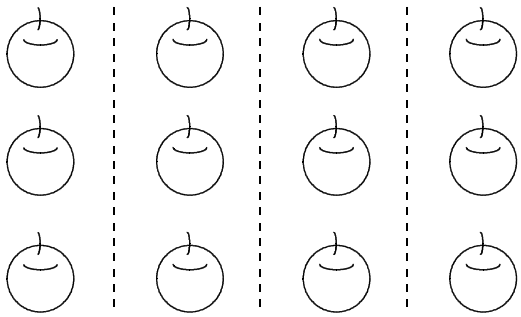
[例題１の解説]

数を同じ大きさに分ける計算を「わり算」といいます。

わり算は「÷」という記号を使います。

九九を思い出して考えましょう。

右図のように12個のリンゴを4人で分けると1人は3個になります。



(別解)

1人がもらうリンゴを□個として考えます。

□×4人＝12個ということです。

九九を使うと 3×4＝12 なので □＝3であることがわかります。

(C) 2014 min-san.com

例題と解説

例題２

□にあてはまる数を求めなさい。

（１）　30÷6＝□

（２）　24は8の□倍です。

（３）　5÷1＝□

（４）　0÷2＝□

答え　（1）5（2）3（3）5（4）0

[例題２の解説]

（１）　30÷6 は30個のリンゴを6人で分けるということと同じです。
1人がもらうリンゴを□個として考えます。
□×6人＝30個 ということになります。5×6＝30 なので □は5であることがわかります。
30の中に6はいくつ入るかと考えても同じです。

（２）　「24は8の何倍ですか？」というのは「24は8に何をかけたものですか？」ということと同じです。
8×□＝24 ということです。8×3＝24 なので 24は8の3倍であることがわかります。
わり算で考えれば、24÷8＝3 なので 24は8の3倍だということになります。

（３）　5の中に1は何個入るかということと同じで、5個入ります。
1×5＝5 なので正(ただ)しいことがわかります。

（４）　**0（ゼロ）はどんな数でわっても0（ゼロ）**です。
そして、**どんな数でも0でわることはできません。**
5÷0や3÷0はできません。答えは0でもなく1でもなく、計算できません。

(C) 2014 min-san.com

教科書Unit.15- 1　3年　わり算の基本
九九とわり算

例題と解説

ポイントまとめ

・数を同じ大きさに分ける計算を「わり算」といいます。わり算は「÷（わる）」という記号（きごう）を使います。

・「24は8の何倍ですか？」というのは「24は8に何をかけたものですか？」ということと同じです。

・0（ゼロ）はどんな数でわっても0（ゼロ）です。そして、どんな数でも0でわることはできません。

(C) 2014 min-san.com